

よこはま動物園ズーラシアから次亜塩素酸ナトリウムを含む水が園外に放流されました。

令和4年5月27日(金)の9時から10時30分にわたり、次亜塩素酸ナトリウムを含む水をよこはま動物園から都岡町小川アメニティに流れる小川に放流する事故が発生しました。

1 事故の概要

5月27日(金)6時頃、ペンギン、オットセイ等のプール水を消毒するための次亜塩素酸ナトリウム溶液を含む水が管理スペースの防液堤内に滞留しているのを巡回時に発見しました。

滞留している原因を確認するため、防液堤内に溜まった水を排水する必要があったことから、塩素濃度測定器により測定しました。

測定の結果、安全であると判断したため、園内の雨水側溝に排水を約1時間30分にわたり行いましたが、実際にはこの排水が濃度の高い次亜塩素酸ナトリウムを含んでおり、都岡町小川アメニティに流れる小川へ流れました。

- (1) 放流した水に含まれていた薬品：次亜塩素酸ナトリウム（プール水の消毒に使用する薬品）
- (2) 放流元：よこはま動物園ズーラシア（横浜市旭区上白根町1175-1）
- (3) 放流先：都岡町小川アメニティ（横浜市旭区都岡町112付近）

2 経緯

5月27日 6時頃 次亜塩素酸ナトリウムとプール水が防液堤内に溜まっていることを確認

5月27日 9時頃 複数回の塩素濃度確認をした後、雨水側溝に排水を開始（10時30分頃停止）

5月27日 16時頃 市民から「小川に魚が浮いている」との連絡

5月27日 20時頃 放流直前の園内水の塩素濃度の測定結果は5～10mg/l程度であることを確認

5月27日 22時頃 園内から小川アメニティへの流出を止める処置を行いました。

3 原因

今回使用した塩素濃度測定器は、試薬の発色により残留濃度を測定するものであり、測定時には発色がなかったことから0.05mg/l以下であると判断しました。

しかし、同測定器は、塩素濃度が10mg/l以上の場合は無色または淡赤紫色を呈するとされており、測定値を誤って判断し雨水側溝に排水しました。

なお、次亜塩素酸ナトリウムを含む水が滞留した原因は現在調査中です。

4 河川への影響

5月28日 6時頃 小川アメニティの塩素濃度の測定結果は0.4mg/lでした。

5 園内への影響

通常どおり開園しますが、次亜塩素酸ナトリウムの残留が確認された「アラーズの谷」を水道法が定める目標値以下になるまで立入禁止とします。

※厚生労働省が定める水道法では、水道水の味やにおいを損なうことがないよう1mg/l以下という目標値が設定

6 今後の対応

次亜塩素酸ナトリウムを含む水が滞留した原因を特定するとともに、排水の管理、方法について検討を行い、これに基づき適切に対応してまいります。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）臨時休園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで
約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。
- ・その他詳細はホームページをご確認ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。